

# 公益財団法人金沢勤労者福祉サービスセンター 平成29年度事業計画書

## 基本方針

勤労者及び事業主の健康でゆとりある生活の実現と、勤労者福祉の総合的な推進を図ることを目的として平成10年10月に当サービスセンターが設立され、今年で20年目、公益財団法人に移行して6年目を迎えることとなりました。

北陸新幹線金沢開業に伴う地元経済への波及効果が現れているものの、海外の政治経済変動による国内経済への影響など不透明感が拭えず、地方の景気回復は中小企業を中心に未だ実感が伴っていません。このような状況の中、ここ数年取り組んできた新規提携利用施設の拡充に加え、く～ぽんBOOKの別冊化など利便性の向上に取り組んできた結果、会員への各種助成事業は幅広く活用され、また、主催事業についても一般住民を含め多くの会員及び登録家族の参加を得ているところであります。

県内の近隣自治体との広域連携を強化することにより多くの勤労者等に受益が及ぶよう、かねてから各位の協力を得て関係市・町に対しまして補助金の交付要望を行ってきたところであります。その結果、従来の金沢市、内灘町、野々市市、かほく市、津幡町、白山市、能美市、小松市に加え、平成28年度から新たに加賀市から補助金の交付を受けることとなりました。平成29年度は、新たに算出方法を見直した補助金額を各市町に要望しており、今後ともご理解いただけるよう取り組んでまいります。

会員の状況につきましては、平成27年度末に約400名の社会福祉法人グループが退会しましたが、会員事業所の事業拡大に伴う入会者が増えたこと、加えて職員等が鋭意努力した結果、平成28年度の年間平均会員数は、対前年度比200人減の10,500人となる見込みであります。今後とも関係各位並びに関係自治体等のご協力をいただきながら、会員拡大に最大限の努力を払ってまいります。また、センター事業の周知や加入推進を図るため、引き続き広報活動にも取り組んでまいります。

一方、事業の実施に当たっては、会員のニーズに合ったサービスの提供を行うとともに、厳しい財務環境の中、健全経営に資するためサービス内容の見直しや経費節減など事務効率化を基本とした事業運営に努めてまいります。併せて、提携施設や指定店の広域的拡充と利用促進を図ることにより、スケールメリットを活用した会員サービスの向上にも努めることとし、公益法人として事業を通じて地域における産業や社会の活性化に貢献してまいります。

### 1 会員数の拡大について

- (1) 平成29年度の年間平均会員数を10,700人と見込み、役員等の協力を得ながら事務局職員が率先して新規加入事業所の開拓と新規加入会員の獲得に努めます。また、引き続き会員からの事業所紹介も活用します。
- (2) 広く一般住民や事業主等に事業内容を周知徹底するため、引き続きインターネットを活用したセンター情報の発信に取り組みます。また、入力した個人情報の保護などホームページのセキュリティを確保するため、新たにSSL認証を適用します。

### 2 事業の内容について

公益法人として引き続き一般住民も参加可能な事業を実施します。主催事業については参加率等実績を考慮するとともに補助事業についても利用実績を勘案し、参加費や助成額の一部見直しを行います。併せて、事業の運営経費や管理経費も徹底した節減により健全経営を目指します。また、グルメ指定店やレジャー・文化施設については、県内各市町の施設との提携拡大を図るなど、会員サービスの向上に資してまいります。

## 事業計画

### 1 公益目的事業

#### (1) 生活安定及び財産形成に関する事業（定款第4条第1項第1号関係）

##### ①生活安定事業（継続）

会員の生活安定のため、教育費、住宅の建設又は購入等の生活資金の融資を斡旋するとともに、全福センターが取り扱う会員専用の格安な医療保険の斡旋を行います。

##### ②財産形成支援事業（継続）

ア 退職金制度の普及を図るため、中小企業退職金共済制度への加入を斡旋します。

イ 安定した老後生活を送るため、生活設計セミナー等の受講者に対し助成します。

助成項目	助成額（円）	見込件数（件）	対前年度比（件）
生活設計セミナー等受講	2,000	10	-

ウ 財産形成セミナーを当センター主催で開催し、一般住民も参加可能とします。

事業名	実施予定年月	参加費（円）	募集人数（人）
終活セミナー	29年6月	無料	50

#### (2) 健康の維持増進に関する事業（定款第4条第1項第2号関係）

##### ①助成事業

##### ア 疾病予防支援事業（見直し）

疾患の予防対策を支援するため、定期健康診断、人間ドック・脳ドック受診に助成します。インフルエンザ予防接種は、利用件数増に対応するため助成額を見直します。

助成項目	助成額（円）	見込件数（件）	対前年度比（件）
定期健康診断	700	6,200	400
人間ドック・脳ドック受診	5,000	350	50
(改) インフルエンザ予防接種	700	4,600	300
合計		11,150	750

##### イ 健康維持増進事業（見直し）

健康の維持増進を奨励するため、スポーツ施設の利用やスポーツスクールの受講に対し助成します。西部緑地公園テニスコートは、利用者減により廃止します。

助成項目	助成額（円）	見込件数（件）	対前年度比（件）
公共スポーツ施設利用回数券	500	1,120	55
金沢市営テニスコート	300	600	100
(廃) 西部緑地公園テニスコート	500～1,050	-	△ 35
金沢勤労者プラザ体育館	120～150	100	40
サンライフ津幡	200	350	50
ゴルフ場プレー代	2,000	2,350	50
ゴルフ練習場プリペイドカード購入	800	1,700	100
スキー場1日リフト券	500～1,400	1,500	△ 100
スポーツスクール受講	2,000～3,000	300	50
合計		8,020	310

##### ②主催事業

##### ア 親睦スポーツ大会の開催（見直し）

健康の維持増進と体調の改善を図るため、隔年開催としたボウリング大会を開催し、一般住民も参加可能とします。参加費は、負担の適正化を図るため見直します。

事業名	実施予定年月	参加費（円）	募集人数（人）
(改)第23回親睦ボウリング大会	30年3月	会員・家族 1,000	80
		一般 1,500	10

(3) 自己啓発、余暇に関する事業（定款第4条第1項第3号関係）

①助成事業

ア カルチャースクール等受講促進事業（継続）

自己研鑽を奨励するため、カルチャースクール等での受講に対し助成します。

助成項目	助成額（円）	見込件数(件)	対前年度比(件)
カルチャースクール等受講	2,000～3,000	85	-

イ 余暇施設利用助成事業（継続）

余暇活動の充実を図るため、宿泊、飲食、レジャー、文化、小売店等各種施設との提携拡充を図るとともに、これらの施設の利用に対し助成します。また、北陸鉄道のバス回数券及び「アイカ」の購入・積み増しに助成するほか、JRバスや近隣市町のコミュニティバス等の回数券・定期券購入にも助成します。

助成項目	助成額（円）	見込件数(件)	対前年度比(件)
宿泊旅行	1,000～2,000	4,400	△ 200
グルメ店	1,000～2,000	10,800	300
映画鑑賞	500～800	22,000	2,100
文化施設	100～500	1,380	200
石川県県民ふれあい公社施設	200～550	7,700	△ 150
日帰り温泉等入浴施設	50～500	14,130	380
プール・海の家	50～500	3,800	200
その他レジャー施設	50～500	3,570	800
バス回数券・アイカ購入積み増し	500	4,800	300
福祉援助サービス	2,000	30	-
合計		72,610	3,930

ウ 利用券等の割引斡旋事業（見直し）

余暇活動の充実を図るため、パーキングチケット（香林坊・武蔵地区共通駐車場）や期間限定グルメチケットを販売するほか、年間を通してコンサート・演劇・スポーツ観戦・BCリーグ・J2リーグのチケット等を販売します。金沢駅東駐車場パーキングチケットは、利用者減により廃止することとし、グルメチケット、コンサートその他チケットの助成については、割引率の適正化を図るため見直します。

助成項目	割引率	見込件数(件)	対前年度比(件)
(一部廃止)パーキングチケット	20～30%	410	30
(改)グルメチケット	15～30%	1,400	△ 100
(改)コンサートその他チケット	15～30%	2,500	250
合計		4,310	180

エ バスツアーの斡旋（見直し）

余暇活動の充実を図るため、提携旅行業者が実施するバスツアーを斡旋し、会員等に対して利用助成するとともに会員同伴による一般住民の参加者にも助成します。

助成額については、助成率の適正化を図るため見直します。

助成項目	助成額（円）	見込件数（件）	対前年度比(件)
(改) 会員特選ツアー	会員・家族 1,500	300	△100
	同伴者 500	50	-

## ②主催事業

### ア 各種研修会及び講習会開催事業（継続）

勤労者として必要なスキルの向上を目的とした各種社員研修を実施します。

事業名	実施予定年月	参加費（円）	募集人数（人）
新入社員研修	29年 5月		30
社員研修（第1回）	29年 11月	無料	24
〃（第2回）	30年 2月		24

### イ 各種教養講座の開催（見直し）

自己啓発の場を提供するため、料理や工作等の知識・技術習得を目指す各種教養講座に加え、タイプ別！整理収納セミナー、デコカップケーキ作り教室を開催します。タイプ別！整理収納セミナーは、一般住民も参加可能とします。

事業名	実施予定年月	参加費（円）	募集人数（人）
ガーデニング教室	29年 5月	1,500	40
クッキング教室 パン作り（第1回）	29年 5月		15
〃（第2回）	6月	1,500	15
自然教室 （親子プチアウトドア体験）	29年 8月	大人・小人 1,000 未就学児 500	35 5
大根寿し教室（第1回）	29年 11月	500	20
〃（第2回）			20
(新)タイプ別！整理収納セミナー	29年 11月	無料	50
しめ飾り作り教室	29年 12月	1,000	24
スタンドグラス教室（第1回）	30年 2月	1,000	15
〃（第2回）			15
(新)デコカップケーキ作り教室	30年 2月	ペア1組1,000	24
合 計			278

### ウ レクリエーション事業（見直し）

勤労者等のゆとりある生活や勤労意欲を向上させるため、家族や友人、職場仲間等との交流や余暇活動の場として、映画上映会や各種体験交流会に加え、新たに夏休み親子地引き網体験を開催します。

事業名	実施予定年月	参加費（円）	募集人数（人）
(新)夏休み親子地引き網体験	29年 7月	500	50
映画上映会	29年 8月	無料	230
巨峰狩りと古代の火起こし &ピザ焼き体験	29年 9月	1,000	50
親子クリスマス会	29年 12月	会員・家族 1,000	30
		一般 1,500	10
合 計			370

(4) 情報提供事業（定款第4条第1項第4号関係）

会員等に事業内容の周知・紹介と事業への参加・利用を呼びかけるため、会報やガイドブックの発行、ホームページを通して各種情報提供を行います。

また、会員・家族以外も利用可能な事業を広報するため、金沢市広報やフェイスブックを活用するとともに、各市町の公共施設や商工会等に配付、配架します。

事業名	部数(冊)
会報「ゆとりんぐ」春号・秋号・新年号	各12,000
〃 夏号	11,500
ガイドブック30年度版	13,000
く〜ぼんBOOK30年度版	12,000
全福ネットガイドブック2018配布(会員事業所) ※	1,200

※一般社団法人全国中小企業勤労者福祉サービスセンター

2 その他の事業（相互扶助等事業）（定款第5条関係）

(1) 慶弔見舞金給付事業（継続）

給付規程に定める事由に該当した場合、祝金、死亡弔慰金及び見舞金を支給します。

給付項目	給付額(円)	見込件数(件)	対前年度比(件)
結婚祝金	20,000	208	△ 9
出生祝金	10,000	322	△ 10
入学祝金(小学校)	10,000	367	14
結婚記念祝金(25年)	10,000	149	4
還暦祝金	10,000	180	10
永年勤続祝金(10, 20, 30年)	10,000	640	9
祝金計		1,866	18
会員の死亡(65歳未満)	100,000	11	△ 1
〃 (65歳以上・不慮の事故による)	100,000	-	-
〃 (65歳以上・疾病その他による)	50,000	4	△ 1
配偶者の死亡	20,000	14	-
子の死亡	20,000	4	-
親の死亡	10,000	330	△ 15
死亡弔慰金計		363	△ 17
障害見舞金(65歳未満・重度障害)	100,000	-	-
〃 (65歳以上・〃 不慮の事故による)	100,000	-	-
〃 (65歳以上・〃 疾病その他による)	50,000	-	-
〃 (不慮の事故による障害)	4,000~90,000	-	-
傷病見舞金(休業14日以上30日未満)	10,000	76	△ 3
〃 (休業30日以上60日未満)	20,000	60	1
〃 (休業60日以上90日未満)	25,000	20	△ 1
〃 (休業90日以上120日未満)	40,000	12	-
〃 (休業120日以上)	55,000	31	-
住宅火災見舞金(50%以上)	100,000	-	-
〃 (30%~50%未満)	70,000	-	-
〃 (20%~30%未満)	50,000	-	△ 1
〃 (20%未満)	20,000	2	2
住宅自然災害見舞金(70%以上)	30,000	-	-
〃 (20%~70%未満)	15,000	-	-
〃 (20%未満)	3,000	-	-
〃 (床上浸水)	6,000	-	-
見舞金計		201	△ 2
合計		2,430	△ 1

## (2) 加入促進事業

### ① 広報活動の推進（見直し）

センターの知名度を高め加入会員の拡大につなげるため、多様な広報活動を実施します。なお、ラジオCMのほか関係団体が発行する会報やチラシへのパンフレット折込みなど実施効果が現れなかった事業については、経費節減のため実施を見合わせることにします。

項 目	内 容
センター紹介プロモーションビデオのホームページ掲載	入会案内・事業概要説明などセンター紹介プロモーションビデオを当センターホームページから閲覧できるように公式YouTubeチャンネルに掲載します。
ホームページバナー広告の相互掲載	提携関係団体と当センターのホームページにバナー広告を相互掲載します。
加入案内ダイレクトメールの送付	業種を絞り、対象事業所にノベルティグッズを同封して加入案内パンフレットを送付します。
ノベルティグッズの活用	ノベルティグッズ（あぶらとり紙）を新規会員勧誘やセンターPR活動の際に配布します。
イベント等への協賛	センターが立地する駅西地区の夏まつりに協賛し、プログラムに広告を掲載します。
加入案内ポスターの掲示	加入案内ポスターを作成し、提携団体や公共施設に掲示を依頼します。

### ② 加入推進員及び職員による事業所訪問（見直し）

加入推進員による飛び込みの事業所訪問については、実績が上がらず新規入会が見込めないため一時休止するとともに、役員等の紹介や問合せ等があった事業所や団体に対しては、センター入会によるメリットを理解してもらうため、職員が積極的に出向き説明するなど、新規事業所の獲得に努めます。

### ③ 会員による紹介制度の活用（継続）

会報紙に会員紹介制度を掲載し、新規事業所の紹介を募ります。

### ④ 近隣自治体や商工会・商工会議所等への協力依頼（継続）

近隣自治体の商工担当部門や商工会・商工会議所、関係各団体と連携を深め、会員の増加に努めます。

## 3 事務局体制

引き続き会員サービスの充実とともに、迅速かつ的確な各種助成・給付事務処理のため、現在7名の職員体制を維持します。